介護部会　Jブロック会議　報告書

実施日　　　　　平成26年　12月　17日（水）　　　14：00～16：00

会議実施会場　　介護老人保健施設　葵の園・川崎

参加人数　　　　12施設　　　18名　参加

議事項目　　　感染症防止対策・褥瘡予防について

内容

1.　各施設での感染症防止対策

　・主体→感染症対策委員会（看護師長含む）

　・各感染症に対する対応策等のマニュアル作成・提示、感染症対策キットの設置をする。

　・各感染症に対する予防・対応策含めた職員に対する施設内勉強会の実施

　（ノロウイルス・インフルエンザ。スタンダードプレコーション・ガウンテクニック等）

　・手洗い・うがい、手指アルコール消毒の実施（職員・面会のご家族様）

　・感染症発生時の面会制限

　・体調不良の職員は体温測定を行う。（ノロウイルス・インフルエンザ等発症の際は、速

やかに上司に報告。場合によっては3日間程度出勤停止）

・飲食物の持ち込み制限（賞味・消費期限の確認、徹底をする）

　・施設内の手すり・エレベーター内の消毒、汚染物（嘔吐等）は次亜塩素酸にて消毒を行う。

　・感染症発生時は、御利用者様居室隔離対応（対応職員の限定）・職員の制服は施設内にて洗濯をする。

※問題点

　・スタンダードプレコーションの理解、意識に職員により差がある。

　・各感染症に対する対応・予防策の職員理解不足あり。

　・認知症の御利用者様もいるため、感染症発生時の居室隔離対応が困難。

2.各施設での褥瘡予防対策

　・主体→褥瘡予防対策委員会

　・皮膚トラブルのアセスメントスコア表（OHスケール）使用、褥瘡形成者のリストアップをする。

　（委員会内及び各所属部署スタッフへ周知する）

　・褥瘡形成や発赤などに至った原因等を利用者の方のADL、皮膚や栄養状態など含め

介護士・看護師含めアセスメントを行う。

　・褥瘡発赤発症リスクのある利用者の方もリストアップし、各委員会内や各所属部署にて対応策を検討する。

　・褥瘡の状態を写真添付にて報告する（経過・処置内容等）

・形成の利用者の方（リスクのある方も含め）の居室に体位交換・ポジショニングの表を写真添付し掲示する。また、体位交換表を居室に設置する。

　・看護師と一緒に処置にあたり、褥瘡の状態など経過観察する。

　・施設内勉強会にて、体位交換・ポジショニングについての講義を実施する。

※問題点

　・介護士によって、褥瘡などの皮膚トラブルに対する意識に差がある。

　・体位交換・ポジショニングの技術不足あり。

　・体位交換の徹底不足。

　・体交マクラ・除圧マットの使い方が職員により理解不足であり、管理ができない。

3.まとめ

予防・感染症防止対策共に各施設委員会主体で対応や対策を実施していている。職員個々により意識や理解・技術に差はあるも、施設内勉強会・スタッフ間でのアセスメントなどを通じた理解を深め、介護士だけでなく看護・各職種共に連携し対応をしていく事が重要である。